

重圧克服、接戦制す

女子の琉球コラソジュニアが北國ハニービージュニアと14-13で接戦を制し、日本一に輝いた。石田孝一監督は「優勝して当たり前と周囲から思われ、プレッシャーもあった。すごくほっとしている」と安堵（あんど）した。

全国決勝の大舞台。立ち上がり琉球は、緊張から動きが硬くシュートが決まらず、第1セットは4-7とリードされた。続く第2セットも3-3と差を縮められなかった。

ハイライト

相手エースの勢いを止めきれず、「このままでは勝てない」（石田監督）と判断。3-2-1守備で臨んでいたが、マンツーマン守備に変えることで、相手エースを封じ、守備から攻撃のリズムをつくり出した。センターや左サイドバックも務めるエース・比嘉聖も得点を決め続け、最終セットで逆転勝利を飾った。

石田監督は「諦めずに頑張り、逆転できたことは自信になったと思う」と選手らの労をねぎらった。

守備変更しリズム乗る



コラソジュニアリーグ コラソ Jr 女子 頂点

ハンドボールの第7回JHシジュニアリーグの決勝戦は25日、東京都の駒沢体育館で行われ、男女ともに臨んだ琉球コラソジュニアは女子が接戦を制して優勝、男子は準優勝した。女子の琉球コラソジュニアは北國ハニービージュニア（石川）と対戦し、第1セ

ットは4-7と先行されるも、第2セットは3-3とし、最終セットで7-3と圧倒して14-13で逆転勝ちした。男子は北陸電力ジュニア（福井）に21-23で惜しくも敗れた。

コラソ Jr 男子 2位

琉球コラソジュニア	14	7 3 4	3 3 7	13	北國ハニービージュニア
北陸電力ジュニア	23	8 8 7	8 3 10	21	琉球コラソジュニア

男女の琉球コラソジュニアの選手と関係者ら（提供）

神森(男)、美東(女) 3回戦へ進出

全国中学生ハンド

ハンドボールの第13回春の全国中学生選手権大会第2日は26日、富山県の氷見市ふれあいスポーツセンタなどで男女の2回戦が行われ、県勢の男子神森と女子美東はともに勝ち、3回戦へ進んだ。

男子神森は富岡南（群馬）に第1セット14-7、第2セットは18-6と大差をつけ32-13で快勝。女子美東は東20（氷見）に第1セット12-3、第2セットは15-15で引き分け、3回戦へ進んだ。



神森	32	18 14	7	13	富岡南
美東	20	12 3	15	15	東20